

平成27年度
アイラブつくばまちづくりキャンペーン
活動事例集



つくば市

アイラブつくばまちづくりキャンペーン活動事例集 目次

(1) 少子高齢化対策に関する事業

「ホームスタートつくば」ビジター養成講座	P1
在宅重症心身障害児と小児患者の余暇活動を推進する事業	P2
研究学園地区に新しく住みついた高齢者のためのコミュニティ・カフェ	P3
つくば地域医療と市民を結ぼう	P4

(2) 環境保全及び地球温暖化対策に関する事業



街中紅葉ウォーク	P5
----------	----

(3) 安心・安全なまちづくりに関する事業


第7回 一ノ矢八坂神社菊花奉獻展示会	P6
アイラブ タウン	P7
地域づくりを考える情報交換・勉強会	P8
マンション居住者及び管理組合のためのセミナー・学習会	P9
花畑地区の防犯見廻り・声かけ活動	P10
花とアートでつくばの駅前を美しく	P11



(4) 日本一の教育都市への取組に関する事業

2015 つくば・土浦合唱交歓会	P12
つくばの一年を楽しむプロジェクト	P13
吃音のある子どもたち支援事業	P14
古民家で、能を謡い、舞い、聞いて、観て、伝統文化を伝える	P15
つくば小中学生将棋大会	P16
つくばマラソンを応援する小学生による社会貢献型金管バンドの支援	P17
マウントTSUKUBAを作ろう	P18
tupera tupera 講演会	P19
子どものための救命教室開催事業	P20
日本の文化を体験しよう着付講座	P21


事業名	「ホームスタートつくば」ビジター養成講座
団体名	kosodateはぐはぐ
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	133,469円
補助金額	100,000円
担当課	こども課
団体の活動概要	「私らしく母を楽しむ」をコンセプトに母親を支援しています。子育て支援拠点に来られない御家庭に出向いて「傾聴」と「協働」という形で支援する「ホームスタート」と、少人数で気楽におしゃべりできる「おしゃべりサロン」を開催しています。
事業内容	「ホームスタート」は、支援の場に来られない親子のために、御家庭に訪問する子育て支援です。訪問される人も、訪問する人も、安心安全に活動できるように、傾聴や子供への理解を中心に、訪問に必要な研修を8日間実施しました。
事業の成果	活動説明会 平成27年7月26日(日) 実施期間 平成27年10月29日から12月10日 毎週木曜日 8回 延べ32時間 実施場所 豊里ゆかりの森 宿舍あかまつ 参加者数 5名 4名がホームスタートビジターに登録し、訪問活動を行っています。
今後の目標・展開	継続して活動できるように、人的・経済的に組織の運営基盤を強化していく必要があると思います。また、他の子育て支援団体との協働でますますつくば市が子育てしやすいまちになるよう力を尽くしたいと考えています。
採択・実践のコメント	・子育ての不安に関して、孤立しがちな親子への訪問を行い、支援を行う「ホームスタートビジター」を育成をすることで、子育てしやすいまちづくりを目指した活動を評価します。 ・今後は、広報活動に力を入れることで、より多くの「ホームスタートビジター」の養成に尽力することを期待します。
活動状況写真	 



事業名	在宅重症心身障害児と小児患者の余暇活動を推進する事業
団体名	小児患者保護者のおしゃべり会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	124,666円
補助金額	100,000円
担当課	障害福祉課
団体の活動概要	在宅重症心身障害児とその家族、入院している小児患者やその他の入院患者が、安全かつ安心して余暇活動を体験し、英気を養う機会をつくっています。また、重度の障害がありながら在宅で過ごす子供達を知ってもらうことで、日常的配慮ができるような社会啓発活動を行っています。
事業内容	「クリスマス会」 茨城県警察音楽隊演奏、スターバックスコーヒーキッズバリスタ体験、サンタからプレゼント配布、クリスマスカード作り、福祉ガイドブック・子育てカレンダー配布
事業の成果	実施日 平成27年12月23日(水・祝) 10:00~12:30 実施場所 筑波大学附属病院 医学部体育館、けやきプラザ 参加者数 105名 地域ボランティア 20名 子供達の成長に何が必要か、また普段からどのような助けが必要なのかを伝えることが出来ました。
今後の目標・展開	重症心身障害児や小児患者が、「普通の子供と同じ楽しみがしたい」ことを知ってもらえる機会を増やし、外出時や退院後に地域の理解者を増やしたいと考えています。これからも、地域ボランティアを募り、地域に周知し、頑張っている子供達と家族に関わってもらいたいと思います。
採択・実践のコメント	・病院の医師・看護師、医療メーカー、病院内店舗の企業ボランティアまでも巻き込み、事業を実施できたことを評価します。 ・今後は病院関係者ばかりでなく、一般ボランティアの受け入れなど市民を巻き込んだ事業になることを期待します。
活動状況写真	 


事業名	研究学園地区に新しく住みついた高齢者のためのコミュニティ・カフェ
団体名	サロンゆうゆう
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	188,975円
補助金額	100,000円
担当課	地域包括支援課
団体の活動概要	ここ数年急速に人口増加した研究学園地区は、新しく住みついた高齢者にとって、近所に知人もなく、自宅に閉じこもりがちです。高齢者の孤立を防ぐためのサロンを平成27年4月から定期的に月4回、13時から3時間、開催しています。おしゃべり、歌唱、保健医療介護の学習で交流を深めています。
事業内容	毎月第1・3月曜日はおしゃべりと歌唱で交流を深め、毎月第2・4火曜日はおしゃべりと保健医療介護の講話で生きがいを持った生き方を互いに学んでいます。
事業の成果	チラシを三大新聞に折り込み、さらに平成28年1月にはタウン紙の紹介記事もあって毎回平均参加者は17.2名です。うち2名は新参加であり、着実に地域に定着しています。孤独な高齢者(移住あるいは配偶者喪失)は新たな友人や相談相手を得て、癒され、生きがいを見出しています。
今後の目標・展開	参加者の要望を取り入れ、保健医療介護の相談を気軽にできる継続的なサロンにしたいと思います。このようなサロンを市内各地区に配置すれば、介護予防の一翼を担えるので、そのモデル的なサロンを目指したいと思います。
採択・実践のコメント	・学びの部分である医療介護の講和とみんなで楽しむレクリエーションとで、メリハリの効いたサロン運営ができたことを評価します。 ・今後は、医療とコミュニケーションの両面を持ったモデル事業としてますます発展していくことを期待します。
活動状況写真	


事業名	つくば地域医療と市民を結ぼう
団体名	つくば地域医療と市民を結ぶ会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	97,898円
補助金額	50,000円
担当課	健康増進課
団体の活動概要	市民と医療従事者の相互理解を深める場を作っていくための活動をしています。「つくばがん患者医科歯科連携協議会」を母体としています。市民自らが医療に参加する“参療”という考え方を広め、つくば市での地域医療が育っていくために、ネットマガジン等で情報を発信しています。
事業内容	「地域住民と医療機関の連携」「患者と医療者のコンフリクト・マネージメント～医療メディエーターの役割」「入院から退院までの支援と地域との連携」というテーマで、筑波メディカルセンター・筑波大附属病院・霞ヶ浦医療センターの講師の方にお話をいただきました。
事業の成果	市民公開講座「つくばも市民自ら参療しましょう」 実施日 平成28年2月20日(土) 14:30～16:30 実施場所 イーアスつくば イーアスホール 参加者数 35名 医療の地域連携や現場について知っていただけたと思います。
今後の目標・展開	講座参加者の中で会員になっていただいた方に、ネットマガジンを配信し、メンバー間での交流を深めていきます。そして、より多くの方に「地域医療」を知ってもらうために活動を続けていきます。
採択・実践のコメント	・医療の地域連携のあり方や医療現場について実例を挙げながら参加者に理解を深める講座になったことを評価します。 ・今後は、地域全体で医療を支える“参療”という考え方が実際の活動につながっていくことに期待します。
活動状況写真	 


事業名	街中紅葉ウォーク
団体名	つくば市環境マイスターの会
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	66,600円
補助金額	50,000円
担当課	環境都市推進課
団体の活動概要	「つくば市環境マイスターの会」はつくば市と筑波大学の連携による「つくば市環境マイスター育成事業」で1級に認定された環境マイスターの有志による団体です。平成27年に設立し、現在の会員数は13名です。つくば市の豊かな自然環境を多くの方々に知っていただくために、自然観察会や環境教育などの活動を行っています。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 自然散策ミニウォーク 樹木の観察と説明。 環境フェスティバルのブースでは、どんぐりの詰め放題や木の実クイズを実施。 2 街中紅葉ウォーク 樹木を中心に地質・地形・歴史などの解説。
事業の成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 自然散策ミニウォーク 実施日 平成27年10月31日(土) 10:30～12:00 参加者数 18名 実施場所 大清水公園周辺 2 街中紅葉ウォーク 実施日 平成27年11月21日(土) 9:30～15:00 参加者数 13名 実施場所 中央公園一東大通りー洞峰公園ーペDESTリアンデッキ 日常生活では意識しない市街地の自然の豊かさに注目してもらい、参加者が環境への関心を高めることができました。
今後の目標・展開	つくば市内の地質・地形・樹木・歴史・都市計画などについて理解を深め、一人でも多くの市民が環境意識を高められるよう、自然環境教育の一助となるような活動を企画していきたいと思ひます。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの緑への関心や親しみを促し、樹木の持つ機能や必要性を説く観察会になったことを評価します。 ・今後は、観察会を定期的で開催することで、公園樹・街路樹を見守り、環境意識の高い市民を育成する活動になることを期待します。
活動状況写真	


事業名	第7回 一ノ矢八坂神社菊花奉獻展示会
団体名	一ノ矢八坂神社菊愛好会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	130,000円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	新旧住民が一丸となって、平安時代の創建になる神社を守り、失われつつある郷土の文化や地域の伝統を守るため、大菊3本立てを受け継ぎ、菊作りを通じて地域のコミュニティを育て、次世代に継承していくために、一ノ矢八坂神社で菊花展を開催しています。
事業内容	一ノ矢八坂神社を会場として、菊花展示会の実施及び実施期間中には豚汁などを振る舞うイベントを開催しました。
事業の成果	実施期間 平成27年10月26日(月)から11月15日(日) 実施場所 一ノ矢八坂神社境内 来場者数 平日50~100名, 休日・祝日100~150名 地域の伝統的文化である大菊作りを毎年継続してゆくことが、とても重要なことだと思いました。
今後の目標・展開	研究学園都市つくばにあって、歴史の重みを感じる一ノ矢八坂神社で、地域の伝統文化の一つである菊花展を幾世代にも渡って受け継いでいける礎を住民と作っていきます。
採択・実践のコメント	・薄れつつある地域伝統文化を継承するために、一ノ矢八坂神社での展示にとどまらず、市内学校への菊花の貸し出しなど活動の広がりを持たせたことを評価します。 ・今後は、より積極的に事業周知を行い、より多くの市民が地域の伝統文化に触れる機会を設けることを期待します。
活動状況写真	



事業名	アイラブ タウン
団体名	研究学園グリーンネックレス グリーンの会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	125,049円
補助金額	100,000円
担当課	道路維持課
団体の活動概要	研究学園駅周辺住民のコミュニティづくりを目的に、地域周辺の自然豊かな環境と調和したまちづくり活動を通じて、コミュニティの輪を広げる活動を実施しています。
事業内容	花植え・水やり・草取り作業を通じて、住民同士のコミュニティづくりを行いました。 1 アダプト・ア・ロード制度を活用した研究学園駅周辺の植樹マス10ヶ所の維持管理。 2 研究学園駅前の円形ベンチ内及び植樹下を活用した花植え・維持管理。 3 商店街の空地を活用した花植え・維持管理。
事業の成果	年間を通じて研究学園駅前周辺の花植えを実施しました。春・秋の植え替え時期には花苗約1,000株、秋には球根約300個の植付けを実施しました。 既存住民から活動を評価され、声をかけられる機会が多くなりました。また、地域ホテルからの花壇作成依頼もあり、コミュニティの輪が広がりました。
今後の目標・展開	研究学園駅周辺の花いっぱい運動の継続による会員の拡大、新旧住民の垣根を越えた交流等によるコミュニティの拡大及び、研究学園駅周辺の企業などと連携した花壇の拡大を図っていきます。
採択・実践のコメント	・地域住民自らが、花の植付け・維持管理を行いながら環境美化を目指した活動だけでなく、コミュニティづくりの輪を広げる活動が年々大きくなっていることを評価します。 ・今後も、新たな住民の参加者を増やしなが、継続的に取り組まれることを期待します。
活動状況写真	 



事業名	地域づくりを考える情報交換・勉強会
団体名	通学路の安全を守る会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	109,534円
補助金額	50,000円
担当課	市民活動課
団体の活動概要	「防災」「防犯」「安全」「見守り」などの様々な分野の官民合わせた団体が集まり、定期的な情報交換・勉強会を実施しています。『地域包括ケアシステム』を地域の立場から担い、在宅しながら安心して暮らせる環境整備及び運用体制のモデルプランを荏岐地区より発信できるよう準備をしています。
事業内容	少子高齢化と介護施設から在宅への流れを受けて「遠隔医療システム」の勉強会に力を入れました。防災科学技術研究所と協力して防災学習、通学路マップのデジタル化を構築し、小中一貫防災連絡会議で発表しました。不登校・ひきこもりの勉強会、子供の貧困対策として団体への物資の支援と勉強会を実施しました。また、地域の一人暮らし高齢者・障害者を中心に「介護」「医療」「福祉」に関する勉強会を行い、介護施設でのボランティア支援と見守り活動を実施しました。
事業の成果	年間を通じ23回の情報交換・勉強会を実施し、延べ約400名の方に参加していただきました。その結果、防犯パトロールや登下校の立哨に自主的な参加者が出てきました。通学区全体エリアを調査し、危険箇所を把握する事ができたので、保護者や学校職員から感謝の言葉をいただくことができました。また、テーマを決め勉強会をすることで参加者同士の交流が図られ、地域相互間での意見交換会につながりました。
今後の目標・展開	平成27年度の実績を踏まえて、更なる参加者との連携を積極的に展開していきたいと考えています。
採択・実践のコメント	・多岐にわたるテーマに沿って、それぞれの内容に応じた参加者同士が一堂に会し、連絡網を構築することができた活動を評価します。 ・今後は、地域住民の参加をより促すとともに、適正回数をこなすことで息の長い継続事業となることを期待します。
活動状況写真	



事業名	マンション居住者及び管理組合のためのセミナー・学習会
団体名	つくば市マンション連絡会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	36,105円
補助金額	20,000円
担当課	営繕・住宅課
団体の活動概要	当会は、つくば市とNPO法人、市民が協力し平成25年に設立しました。マンション管理組合のネットワークは、茨城県では当会が最初です。マンション管理と地域社会に対するマンション住民の意識向上のため、セミナーや学習会を開催し住環境の改善を図っています。
事業内容	マンションでの安心居住に向けた情報提供、意識向上を目的として、以下の事業を行いました。 1 セミナー 「マンション(建物)と居住者 2つの高齢化に備える」 2 学習会 「大規模修繕工事を最近終えた市内マンションの報告会」
事業の成果	1 セミナー 実施日 平成27年6月 参加者数 50名 2 学習会 実施日 平成27年11月 参加者数 21名 アンケートの結果では、ほとんどの参加者から良い評価をいただきました。
今後の目標・展開	マンションの増加に伴い、将来は県内や全国規模の団体と連携していく必要があると考えています。認知度を高め会員を増やし、行政やNPOと連携しながらマンションだけでなく地域の住環境整備のために活動を広げ、近い将来には自主運営することを目指していきます。
採択・実践のコメント	・マンション居住者やマンション管理に関わる者が抱える諸問題について、他団体との情報・意見交換を行うセミナーを開催したことを評価します。 ・マンション住民及び管理組合の知識の向上、さらには地域コミュニティの醸成に向けた意識啓発活動になることを期待します。
活動状況写真	

事業名	花畑地区の防犯見廻り・声かけ活動
団体名	花畑自警団
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	103,354円
補助金額	50,000円
担当課	危機管理課
団体の活動概要	警察等の防犯関係機関(者)と相互連携を取りながら、住民の防犯意識の高揚を図り、自主的防犯活動を推進することで、犯罪のない平和な明るいまちづくりを目指すとともに、少年の非行防止と青少年の健全育成を図っています。また、民生委員等と協力しつつ、一人暮らしの高齢者が地域で孤立することなく、安心して生活ができる地域づくりを進めています。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 わんわんパトロールによる地域への防犯意識の啓発活動 2 週末の夕方に地域内を青パトまたは徒歩によるパトロール 3 警察と連携した防犯啓発イベントへの参加 4 民生委員と連携した地域の高齢者の見守り
事業の成果	<p>実施期間 平成27年9月1日から平成28年1月31日の週末 実施場所 花畑・大穂地区 実施回数 44回</p> <p>警視庁で行われた「安心・安全まちづくりフォーラム～これからの防犯ボランティア活動を考える～」で、茨城県代表として活動報告をしました。</p>
今後の目標・展開	<p>継続して誰もが安心して生活できる、住み良いまちづくりに協力するとともに、今後はパトロールの最中にゴミ拾いを行うことで、地域の美化と環境保全も積極的に行おうと考えております。さらに、昨年度は不十分であった一人暮らしの高齢者に対する見守り活動も進めていきます。</p>
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯、安全維持活動を警察や民生委員などと連携を図りながら地域住民自らが行ったことを評価します。 ・今後も、地域の安心・安全に関する地域づくりに一人でも多くの地域住民が参加する活動に発展されることを期待します。
活動状況写真	


事業名	花とアートでつくばの駅前を美しく
団体名	NPOつくばアーバンガーデニング
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	65,753円
補助金額	30,000円
担当課	まちなみ整備課
団体の活動概要	TXつくば駅前や松見公園等で活動している「NPOつくばアーバンガーデニング」のコミュニティガーデン花仲間です。私達のまちが緑豊かで美しいことを願いながら、公共地に花壇(まちの庭)を造り、誰もが花の持つ「いやしの力」に出会いと楽しみを見いだせるよう花壇管理と交流活動を行っています。
事業内容	TXつくば駅前A5出入り口周囲の美しい景観を維持するために、設置したウッドプランターへの花の植栽、花殻摘み、灌水による継続した維持管理を実施しました。
事業の成果	プランター脇を行き交う人達から感謝の言葉が発せられ、維持管理のための花選び、花植え、灌水、花管理作業が気持ち良く行え、互いの優しい気持ちが美しいまちづくりへとつながっていきました。
今後の目標・展開	今後は、ウッドプランターの修理と新調、そして花材調達のための資金確保に努めたいと思います。また、市民参加の花植え後に誰もが参加できる給水の仕組みを整えたいと思います。
採択・実践のコメント	・花を植えた後も管理作業を丹精込めて行い、心癒される美しい景観を維持し続けている活動を評価します。 ・今後は、当活動を継続することで、多くの市民が参加するだけでなく、つくば駅前に対する愛着やセンター地区の活性化につながることを期待します。
活動状況写真	



事業名	2015 つくば・土浦合唱交歓会
団体名	つくば市合唱連盟
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	318,910円
補助金額	30,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	平成19年6月に設立し、合唱団同士の連携を図る目的で活動しています。
事業内容	合唱文化の発信を目的として、「2015 つくば・土浦合唱交歓会」を開催しました。 当日午前 各団体のリハーサル、講師による合同演奏の指導 当日午後 各団体の演奏発表、講師による講評、複数の合唱団による合同演奏 講師による合同演奏指揮 その他に事前・事後の運営会議を実施しました。
事業の成果	実施日 平成27年7月20日(月・祝) 開演13:30 終演17:00 実施場所 ノバホール 参加者数 545名(14団体) 来場者数 265名 仲間と共に活動できる合唱の魅力や奥深さを多くの方々に知っていただくことができました。合唱団同士の交流も深まりました。
今後の目標・展開	ノバホールを有する地域としての誇りを持って、交歓会に参加する合唱団を増やし、合唱の楽しさを多くの方に伝える取り組みを続けていきます。
採択・実践のコメント	・合唱団同士の連携を深め、一同が合同で同じ舞台に立てるための準備や、男声・女声・混声と形態の違ったプログラムの作成など、工夫にあふれた活動を評価します。 ・今後も、来場者の増加に向けた活動を行うことにより、活気あふれる合唱文化を提供し続けることを期待します。
活動状況写真	 


事業名	つくばの一年を楽しむプロジェクト
団体名	つくばの一年を楽しむ会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	71,000円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	市民活動課で運営しているSNS「つくば市民活動のひろば」をきっかけに市民活動団体が連携してできた団体です。つくば中央公園内にある民家園を活動場所として、「つくばの一年を楽しむ」のタイトルで、季節季節の行事やその行事食を親子で手作りし、学び、楽しむ会を開催しています。
事業内容	夏 「つくばの夏を楽しもう 七夕飾りと流しそうめん」 立秋 「つくばの立秋を楽しもう 灯籠作りと冷製翡翠白玉」
事業の成果	実施日時 平成27年6月28日(日), 8月8日(土) 実施場所 さくら民家園 参加者数 夏 大人22名 子供18名 スタッフ13名 立秋 大人17名 子供24名 スタッフ10名 親子と一緒に、季節の行事のお話と、それに関わる食べ物を作る経験ができて良かったとの感想がほとんどでした。
今後の目標・展開	アンケート結果などから、主催者の意図が十分に理解された事業であったと思われる、出来れば継続したいと考えています。しかし継続の場合は、参加費の値上げは避けられないと考えています。
採択・実践のコメント	・つくば市で昔から行われてきた季節ごとの伝統文化・行事を、古民家を活用し楽しみながら学び、次世代につながる活動を市民活動団体が連携して実施したことを評価します。 ・今後も、市民活動団体が持っている専門性や地域力を活用することにより、多世代間の交流につながるような活動への広がりを期待します。
活動状況写真	 



事業名	吃音のある子どもたち支援事業
団体名	ゆうゆうゆう会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	138,246円
補助金額	50,000円
担当課	教育指導課
団体の活動概要	吃音のある子供達が、吃音を持ちながらも健やかに成長発達できるように支援する会です。茨城県内の言語聴覚士・教員が中心になって、主に就学後から中学生までの吃音がある子供達と話す練習をしたり、遊んだり、発表会をして、話すことに自信をつけていくよう支援します。
事業内容	実施期間 平成27年4月19日から平成28年1月17日 計9回 実施場所 春日交流センターを中心に、他に竹園・並木交流センター 参加者数 延べ100名 内容 遊んだり・話す練習, 調理実習, 講演会, 音楽会, 音読会
事業の成果	会の子供達は、順調に成長発達しています。 特記すべきは、2名の子供が吃音に向き合う感想文を書き、第40回茨城県冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクールで、茨城県知事賞と茨城県教育委員会教育庁賞を受賞しました。
今後の目標・展開	実施時間や場所などを見直して、子供達がもっと参加しやすく、さらに楽しめる活動を行いたいと考えています。
採択・実践のコメント	・孤独になりがちな吃音のある子供達が、その症状に応じた仲間づくりをできるように環境作りを行った活動を評価します。 ・今後も吃音のある子供達が、つらい思いを乗り越えられるよう、吃音について社会的理解を得られるような活動を期待します。
活動状況写真	 


事業名	古民家で、能を謡い、舞い、聞いて、観て、伝統文化を伝える
団体名	特定非営利活動法人 華の幹
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	531,748円
補助金額	150,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	広く一般市民に対して、つくば市小田地区の古民家の保存と再生、活用に関する事業を行うとともに、筑波山麓の豊かな自然環境・歴史的遺産・農産物などの地域資源を活用し、観光振興や地域の高齢者の交流を図り、古民家の街並みを含めた地域資源を次世代に継承することを目的とした活動を行っています。
事業内容	つくば市民に、つくば市小田の古民家で日本の伝統文化に親しむ事業を行いました。 1 能楽体験教室開催 8回 参加者数12名 2 能楽体験教室発表会 平成27年9月20日(日) 3 能に親しむ会 平成27年9月20日(日)
事業の成果	能に親しむ会では、謡と仕舞、「巴」の一部が上演されました。日頃親しむことがない「能楽」を、分かりやすい解説、朗読と琴演奏を交え楽しんでいただきました。地域の方々の参加と協力により、400名の来場者を迎え盛況に終了することができました。
今後の目標・展開	今後も、特定非営利活動法人華の幹は、古民家を活用し日本の伝統文化の継承、古民家の保全活動をしていきます。
採択・実践のコメント	・地域資源である古民家を活用し、子供達に能の稽古を通じて日本の伝統文化を次世代に継承していく取組を行ったこと、自主財源確保に努めた活動を評価します。 ・今後も古民家の保全活動と様々なイベントを企画・開催し、多くの方々に伝統文化の普及を図る活動を期待します。
活動状況写真	

事業名	つくば小中学生将棋大会
団体名	つくばボードゲーム愛好会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	55,535円
補助金額	30,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	まだ学区に児童館がない春日学区で、ボードゲームを中心に放課後の小学生の居場所づくりとして、春日交流センターを会場に「ボードゲームの広場」を週1回行っています。
事業内容	これまでつくば市内では将棋大会が開催されてこなかったもので、放課後に将棋を学んだ成果を発揮できるように、目標となる大会として「つくば小中学生将棋大会」を実施しました。
事業の成果	実施日 平成27年8月9日(日) 実施場所 筑波大学春日キャンパス 参加者数 16名 学生ボランティア 12名 会場を筑波大学内にすることで、将棋部以外の学生にも社会貢献活動や地域社会へ参加する機会をつくることができました。
今後の目標・展開	学生ボランティアとの協力体制が非常にうまくいったのは、「ボードゲームの広場」での日頃の活動の成果だと思うので、今後も連携を続けていきたいと考えています。
採択・実践のコメント	・筑波大学、筑波学院大学の学生も巻き込んだ市民活動を展開することで、つくばのまちづくりに学・官・民の三者が関わったことを評価します。 ・今後は、少しでも多くの子供達に参加できるように内容を工夫し、活動することを期待します。
活動状況写真	

事業名	つくばマラソンを応援する小学生による社会貢献型金管バンドの支援
団体名	ANB2015保護者の会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	30,000円
補助金額	30,000円
担当課	市民活動課
団体の活動概要	つくば市立吾妻小学校金管バンド(Azuma New Brass: ANB)です。つくばマラソンの応援演奏, まつりつくばのパレード演奏, 吾妻まつりの演奏, 土木の日の演奏, 中央公園の除幕式の演奏など, 社会貢献型の演奏活動を行っています。
事業内容	実施日 平成27年11月22日(土)時間 10:00~11:20 実施場所 筑波大学第一エリア前付近 内容 つくばマラソンの応援演奏
事業の成果	冷たい風の吹く冷える日でしたが, 子供達は一生懸命演奏し続けました。ランナーの方々の中には拍手を下さる方もいて, 子供達も誇らしい表情をみせました。地域の催しに参加することが認められ, その活動が期待されていると感じることができたと思います。
今後の目標・展開	社会の中の自分を意識できるように, 音楽を生涯の友とできるようにしてあげたいと思います。「継続は力なり」です。小学生の金管バンドは最長でも3年間の活動ですが, その中で地域と関わり, 一つの役割を果たすことの大切さを音楽の楽しみとともに伝えていきたいと思います。
採択・実践のコメント	・つくばマラソンでランナーに勇気を与える演奏を社会貢献型バンドとして, 小学生が社会の一員として参加した活動を評価します。 ・今後も, 小学生のメンバーが社会貢献型バンドとして, 事業の参加者に勇気を与える演奏を代々継承できる保護者の会になることを期待します。
活動状況写真	 

事業名	マウントTSUKUBAを作ろう
団体名	つくばアートセンター
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	426,000円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	広く市民に対して芸術文化的活動を実施しています。また、芸術体験の提供と国際感覚を踏まえながら芸術文化によるまちづくり、地域活性化を目的とし、非営利事業としてアーティストインレジデンス等を開催しています。
事業内容	<p>アートを通じた人的国際交流を目的として、芸術文化が身近なものに感じてもらえるように以下の事業を実施しました。</p> <p>『クラフトワークショップ「マウントTSUKUBAを作ろう」』</p> <p>アーティストと一緒に筑波山の形の発泡スチロールボードにカットイングシールを貼って思い思いの筑波山を描く。</p>
事業の成果	<p>実施期間 平成27年10月31日(土)から11月1日(日) 両日とも 11:00～</p> <p>実施場所 筑波ふれあいの里</p> <p>参加者数 未就学児童5名 小学生10名 大人(保護者等)10名</p> <p>子供達とアーティストが一緒になって作品を作り上げ、ものづくりの面白さを体験できました。</p>
今後の目標・展開	小学校の子供会などの体験学習として取り組めたら良いと思います。今後もたくさんの方に楽しんでもらえるような芸術活動事業を企画したいと思います。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に活躍されている海外の芸術家と接し、一緒に作品を作る体験をすることで、芸術面だけでなく国際交流の面でも貢献できた事業を評価します。 ・今後は案内地図のわかりやすさなど、参加者の目線に立ったチラシ作成を行うことで、新たな参加型の芸術活動になることを期待します。
活動状況写真	

事業名	tupera tupera 講演会
団体名	子どもの本と図書館
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	216,800円
補助金額	100,000円
担当課	中央図書館
団体の活動概要	つくば市で活動している「子どもの本と図書館」です。昭和59年設立で、読書環境や地域の図書館について考える会です。 現在の会員は19名、月に1回中央図書館で読書会を開催しています。また、近隣の図書館へ見学に行ったり、図書館について地域の方に知ってもらうため、講演会を企画したりしています。
事業内容	大人の方々にも絵本の読書の楽しさを知ってもらうため、絵本作家 tupera tupera 亀山達矢氏の講演会を企画しました。
事業の成果	実施日 平成28年1月24日(日) 13:30～15:30 実施場所 アルスホール 参加者 100名 スタッフ10名 広報に当たっては地元のラジオ局の協力をいただいたり、サイン会用に持参する本を地元で購入していただけるよう、近隣書店との連携を図りました。
今後の目標・展開	いつもは親子連れの参加が多いtupera tuperaさんの講演会ですが、大人限定にしても十分な人気がありました。「子供の本を大人も楽しめる」「図書館はこんな活動もしているのか」ということをこれからも広く伝えていきたいと思います。
採択・実践のコメント	・講演会及びサイン会とも好評で、会場は満席になりました。スタッフワークの良さから当日運営がスムーズだったので、参加者の満足度が高かった講演会になったことを評価します。 ・今後は、工夫を凝らし参加者の年齢制限を設けない同様の事業の実施を期待します。
活動状況写真	 

事業名	子どものための救命教室開催事業
団体名	子どものための救命教室
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	172,163円
補助金額	150,000円
担当課	警防課
団体の活動概要	「つくば市の全ての子どもたちに救命教育」を目標に活動しているNPO法人です。未就学児と小学生の子ども達が、保護者と一緒に参加できる救命教室を開催しています。
事業内容	子ども達には、「命とはなにか、生きているとはどういうことか」を考えてもらいました。また、正しい119番通報の仕方を学ぶ講習を実施しました。保護者は心肺蘇生法やAEDの使用法の講習を実施しました。講習を修了した子ども達に「キッズ救命隊」の認定カードと缶バッジをプレゼントしました。
事業の成果	実施日 平成27年12月13日(日), 平成28年2月28日(日) 実施場所 松代交流センター, 大穂交流センター 参加者数 49名 子ども達は命の仕組みを理解しました。保護者は我が子の急変に対応できるスキルを身につけました。
今後の目標・展開	今後も継続して救命教室を開催し、目の前で誰かが倒れた時に勇気ある行動をとれる「キッズ救命隊」を増やしていきたいと考えます。これにより互いに慈しみ合う安心安全なまちづくり、そして地域の救命率の向上を目指します。
採択・実践のコメント	・担当部署とお互いの特性や立場を理解し、目的を共有して市民協働で事業を行ったことを評価します。 ・今後も、担当部署の持つ情報力を活用して、広く子供とその保護者に救命教育の大切さを継続して伝えられる事業になることを期待します。
活動状況写真	

事業名	日本の文化を体験しよう着付講座
団体名	つくばで国際交流しよう
寄附活用分野	日本一の教育都市への取組に関する事業
総事業費	167,040円
補助金額	0円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	つくば市を中心に活動している国際交流のサークルです。BBQや遠足、ワークショップなどイベントの企画・運営を行い、気軽な交流の場を提供することにより、国籍・年齢・性別にこだわらない真の友情を育み、立場の違う者同士の相互理解を目指しています。ボランティアスタッフの協力の下、参加者一人一人が協力し合って素晴らしいイベントを作り上げています。
事業内容	1 和装文化の継承を目指した着付講座を行い、和の文化を学びました。講座の際、短期滞在の外国人には着付体験をしてもらいました。 2 和の体験を通じた交流の機会を設けることと、講座の生徒達の成果発表の場として、和装茶道体験を行いました。
事業の成果	1 着付講座 実施期間 平成27年12月上旬から平成28年2月下旬（水曜クラス、土日クラス各8回） 実施場所 つくば市地域交流センター 参加者数 着付講座 外国人2名 日本人7名 着付体験 外国人42名 日本人8名 2 和装茶道体験 実施日 平成28年2月17日（水）、27日（土） 両日とも 10:00～16:00 実施場所 竹園交流センター、春日交流センター 参加者数 外国人47名 日本人9名 着付講座に参加した日本人・外国人が着付を自分でできるようになりました。
今後の目標・展開	今後も、楽しみながら小さな国際貢献をしていきたいと考えています。
採択・実践のコメント	・アイラブつくばまちづくり補助金に頼らず、自助努力によって資金・物資確保に努め、単独開催ができた団体の自立性について高く評価します。 ・今後も、和の文化体験を通じて日本人・外国人を問わず、交流のきっかけづくりの事業を継続して実施することを期待します。
活動状況写真	

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	事業名	寄附活用分野	
	団体名	補助額	担当課
1	「ホームスタートつくば」ビジター養成講座	少子高齢化対策に関する事業	
	kosodateはぐはぐ	100,000円	こども課
2	在宅重症心身障害児と小児患者の余暇活動を推進する事業	少子高齢化対策に関する事業	
	小児患者保護者のおしゃべり会	100,000円	障害福祉課
3	研究学園地区に新しく住みついた高齢者のためのコミュニティ・カフェ	少子高齢化対策に関する事業	
	サロンゆうゆう	100,000円	地域包括支援課
4	つくば地域医療と市民を結ぼう	少子高齢化対策に関する事業	
	つくば地域医療と市民を結ぶ会	50,000円	健康増進課
5	街中紅葉ウォーク	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	つくば市環境マイスターの会	50,000円	環境都市推進課
6	第7回 一ノ矢八坂神社菊花奉獻展示会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	一ノ矢八坂神社菊愛好会	50,000円	文化振興課
7	アイラブ タウン	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	研究学園グリーンネックレス グリーンの会	100,000円	道路維持課
8	地域づくりを考える情報交換・勉強会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	通学路の安全を守る会	50,000円	市民活動課
9	マンション居住者及び管理組合のためのセミナー・学習会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	つくば市マンション連絡会	20,000円	営繕・住宅課
10	花畑地区の防犯見廻り・声かけ活動	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	花畑自警団	50,000円	危機管理課
11	花とアートでつくばの駅前を美しく	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	NPOつくばアーバンガーデニング	30,000円	まちなみ整備課
12	2015 つくば・土浦合唱交歓会	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	つくば市合唱連盟	30,000円	文化振興課
13	つくばの一年を楽しむプロジェクト	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	つくばの一年を楽しむ会	50,000円	文化振興課

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	事業名	寄附活用分野	
	団体名	補助額	担当課
14	吃音のある子どもたち支援事業	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	ゆうゆうゆう会	50,000円	教育指導課
15	古民家で、能を謡い、舞い、聞いて、観て、伝統文化を伝える	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	特定非営利活動法人 華の幹	150,000円	文化振興課
16	つくば小中学生将棋大会	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	つくばボードゲーム愛好会	30,000円	文化振興課
17	つくばマラソンを応援する小学生による社会貢献型金管バンドの支援	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	ANB2015保護者の会	30,000円	市民活動課
18	マウントTSUKUBAを作ろう	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	つくばアートセンター	50,000円	文化振興課
19	tupera tupera 講演会	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	子どもの本と図書館	100,000円	中央図書館
20	子どものための救命教室開催事業	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	子どものための救命教室	150,000円	警防課
21	日本の文化を体験しよう着付講座	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	つくばで国際交流しよう	0円	文化振興課